

令和4年第10回加須市教育委員会定例会会議録

招集の日時	令和4年10月24日	午後1時30分
招集の場所	第一委員会室	
開会の日時	令和4年10月24日	午後1時30分
閉会の日時	令和4年10月24日	午後3時30分
出席者の氏名	小野田誠教育長、遠藤康江教育長職務代理者、猪股富美子委員、秋山哲也委員、山本俊一委員、松永修委員	
欠席者の氏名		
会議に出席した者の氏名	齊藤千恵美生涯学習部長、遠井久夫学校教育部長、野本朋子こども局長兼学校教育課部長理事、高貫貢生涯学習部副部長兼教育総務課長、鳥海和彦生涯学習課長兼北川辺郷土資料館長、渡辺伸征文化・学習センター所長兼加須文化・学習センター館長、松井善人スポーツ振興課主幹、大原真理子図書館課長兼加須図書館長、清水博文学校教育課長兼指導主事、武井由加里学校給食課長兼加須学校給食センター所長、関口久美子こども局こども保育課長兼学校教育部主席専門員、齋藤修学校教育部主席専門員、岡野信人学校教育課主幹兼指導主事、野本大輔学校教育課主幹兼指導主事、岡田正道教育総務課主幹	
会期日程	第 1	会議時間の決定
	第 2	会議録署名委員の指名
	第 3	前回会議録等の承認
	第 4	第37号議案 令和4年度加須市一般会計補正予算（第7号）のうち教育費について
	第 5	第38号議案 加須市特別支援教育推進計画について
	第 6	その他
発言者	会議の概要	
小野田教育長	<p>ただいまから、令和4年第10回加須市教育委員会定例会を開会します。</p> <p>本日の議事日程につきましては、別紙のとおりでございますので、ご了承願います。</p> <p>会議時間の短縮を図るため、事務局は各資料の説明について、簡潔明瞭に行ってください。</p> <p>本日は傍聴希望者はありません。</p> <p>【日程第1 会議時間の決定】 日程第1 会議時間の決定についてでございますが、本日の日程がすべて終了するまでとすることによろしいでしょうか。 （異議なしとの声あり）</p>	
小野田教育長		

小野田教育長	<p>それでは、会議時間は、本日の日程がすべて終了するまでといたします。</p> <p>【日程第2 会議録署名委員の指名】 日程第2 会議録署名委員の指名について、今回は遠藤委員にお願いいたします。</p>
遠藤教育長職務代理者	はい。
小野田教育長	<p>【日程第3 前回会議録等の承認】 令和4年第9回定例会の会議録については、事前にお配りしてございます。会議録の内容について何かご質疑、ご意見等ございますか。</p>
小野田教育長	<p>ご質疑、ご意見等ないようですので、令和4年第9回定例会の会議録については承認ということによろしいでしょうか。</p>
小野田教育長	<p>(異議なしとの声あり)</p> <p>それでは、承認とします。</p> <p>日程第4 第37号議案「令和4年度加須市一般会計補正予算(第7号)のうち教育費について」は、加須市議会に議案として提案予定の案件であることから、加須市情報公開条例第7条第1項第4号の非公開情報にあたります。</p> <p>よって、日程第4は、加須市教育委員会会議規則第3条第5項に基づき、会議を非公開とすることによろしいですか。</p>
小野田教育長	<p>(よろしい との声あり)</p> <p>なお、日程第4 第33号議案は、加須市議会に議案として提案された日以後は、非公開とする必要はございませんので、会議録につきましては、当日は非公開で行ったことを付記した上で公開する、ということによろしいですか。</p> <p>(よろしい との声あり)</p> <p>それでは、これより会議を非公開といたします。</p>
小野田教育長	<p>※「日程第4 第37号議案」は、令和4年10月27日開会の令和4年第1回加須市議会臨時会開会前であったことから非公開で実施。</p> <p>【日程第4 第37号議案 令和4年度加須市一般会計補正予算(第7号)のうち教育費について】</p> <p>日程第4 第37号議案「令和4年度加須市一般会計補正予算(第7号)のうち教育費について」を議題といたします。事務局より説明させます。</p>

高貫生涯学習部副部長兼教育総務課長	<p>令和4年度加須市一般会計補正予算（第7号）のうち教育費について、令和4年第1回臨時会に議案を提出するにあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき審議願いたく、この案を提出するものです。</p> <p>内容としましては、歳入の諸収入のうち雑入を1億5,890万3千円減額するものでございます。</p> <p>（以下、担当から説明）</p>
武井学校給食課長兼加須学校給食センター所長	<p>今回の第7号補正は、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の中に、電力・ガス・食料品等価格の物価高騰に伴う重点支援ということで新たな制度創設がされたことに伴いまして、生活者支援・事業者支援のための補正予算を提案するものでございます。</p> <p>物価高騰の影響を大きく受ける子育て世帯に対し、臨時の生活支援を実施するもので、子育て世帯への臨時の生活支援として、就学前の子どもに「ちょこっとおたすけ絆サポート券」を配布するとともに、市立小・中学校に通う児童・生徒の学校給食費を一時的に支援します。</p> <p>このうち、教育に関する部分につきましては、学校給食費の支援となります。</p> <p>市立小中学校に通う児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、令和4年11月から令和5年3月までの5ヶ月間に限り、学校給食費を一時的に免除いたします。</p> <p>補正予算の概要は、小学校で1人1月3,800円、中学校で1人1月4,400円、小・中学校の合計で対象者数は7,920人、5ヶ月分の免除額の合計が1億5,890万3,000円、こちらの額を歳入予算から減額するものとなっております。</p>
野本こども局長兼学校教育部理事	<p>同じように、子育て世帯への生活支援として、就学前の子どもを養育する世帯の生活を支援するとともに、地域経済の活性化を図るために、子ども1人について、1万円の「ちょこっとおたすけ絆サポート券」を配布いたします。</p> <p>令和4年10月31日現在で、本市に住民登録をされている就学前の子どもが対象で、平成28年4月2日から令和4年10月31日生まれの子どもが対象となります。</p> <p>予算の内訳は、対象児童を4,800人と見込みまして、事業費が4,800万円、消耗品費や郵送料、商工会への補助金の事務費として、503万3,000円で、総計5,303万3,000円となります。</p> <p>こちらは未就学児の支援でございまして、民生費からの支出となります。</p>
小野田教育長	<p>以上説明がありました。これより審議を行います。</p> <p>ご質疑、ご意見等ございますか。</p>
秋山委員	<p>エネルギーや円安による物価高が懸念される状況であり、ガソリン価格も高騰しています。加須市は車を持っている方が多く、子どもの送り迎えでも負担がかかっています。子を持つ家庭への支援は大変ありがたいことですので、このような支援は、今後もよろしく願いいたします。</p>
遠藤委員	<p>先日も全世界帯に絆サポート券を配布しましたが、このサポート券の使用率はど</p>

	のくらいなのか教えていただけますでしょうか。
野本こども局長兼学校教育部理事	令和2年度に児童手当を受けている子ども1人について1万円を配布いたしましたが、換金したのが98.28%でございます。
小野田教育長	他にございますか。
小野田教育長	それでは、ご質疑、ご意見等ないようですので、採択に移ります。 お諮りします。 第37号議案「令和4年度加須市一般会計補正予算（第7号）のうち教育費について」は、原案のとおり可決ということによろしいですか。 （異議なしとの声あり） それでは、原案のとおり可決とします。 （全員賛成により原案可決）
小野田教育長	これより会議の非公開を解きます。 【日程第5 第38号議案 加須市特別支援教育推進計画について】
小野田教育長	日程第5 第38号議案「加須市特別支援教育推進計画について」を議題いたします。事務局より説明させます。
清水学校教育課長兼指導主事	加須市特別支援教育推進計画について、本市の学校における特別支援教育の方針を定め充実を図るため、この案を提出するものでございます。
小野田教育長	以上説明がありました。これより審議を行います。 ご質疑、ご意見等ございますか。
猪股委員	前回の会議で指摘したところについて、きちっと細々と加除修正していただきありがとうございました。 前回見た時に比べて、とても理解しやすくなっていると思いました。
秋山委員	感想になりますが、今後5年間で児童生徒数が減る見込みの一方で、特別支援教育を受ける児童・生徒数は増加が見込まれるということで、増設、新設や教員の配置が急務だということが書いてあります。 教員の課題として、先生が特別支援に関する理解を深める度合いをどれだけ増やせるかということが、個人的には鍵になると思っていますので、講習会を夏季休業中に開催するとか、先生が気軽に参加したり、連携づくりをしたりという対策があるといいかなと思います。
小野田教育長	この計画は、誰に向けたものですか。
清水学校教育課長兼	先生方向けが主となりますが、市民に向けても公開します。

指導主事	<p>先生方もお忙しいなか、特別支援教育に携わっていない先生もこの資料をご覧になるわけですね。</p> <p>これを熟読していただき、これからこうしていくという共通理解を図るため、教育委員会から先生の方に出向いて研修するとのことですが、その計画は1年間の中のカリキュラムに入っているのでしょうか。</p> <p>若い先生たちも自分の仕事で目いっぱいだと思いますけれども、子どもたちの教育に携わっているすべての先生に大事な共通理解をしていただくため、資料が資料で終わらないように活用していただける方策や計画が具体的にあったら教えていただきたいです。</p>
清水学校教育課長兼指導主事	<p>令和5、6、7年の3年間で、1年10校ずつ回り進めていきます。</p> <p>現時点では、各年10校というところまで決まっていますが、具体的にどの年にどの学校にというところまでは決まっておりません。</p>
猪股委員	<p>一般の市民の方も見ることを踏まえて、16ページにもインクルーシブとありますが、形だけインクルーシブとなっている教育現場が多いため、教育委員会への要望となりますが、対象となる子どもたちやご家族のフォローであったり、対象となる教職員の研修であったりは大事ですが、本当にインクルーシブを進めるためには、その他大勢の障がいのない子の親や障がいのない子どもたちが、この特別支援の世界をどれだけ正確に理解するかというのがとても大事になります。</p> <p>この特別支援の領域には専門家しかわからないような表現や単語があるので、特別支援と普段関わらないその他大勢の市民の人たちが、正しく特別支援教育というのを理解できるような情報発信をしていただきたいと思います。</p> <p>これを策定して、公開するだけでなく、いかに広く理解してもらうかというその情報発信のあり方や仕組み・仕掛けを、こども局や生涯学習部と連携して、やっていただければと思います。</p> <p>質問ですが、特別支援学校に、推進計画の原稿策定にあたって、例えばこのエリアのセンターの機能を果たす騎西特別支援学校とか、診断をする委員会の方は事前に見ているのでしょうか。それとも、教育委員会で策定してから見せるのでしょうか。</p>
清水学校教育課長兼指導主事	<p>今ご覧いただいている計画を、直接特別支援学校の先生に見ていただくことは、まだしていません。</p> <p>この計画は市の動きと捉えて、策定をいたします。</p>
猪股委員	<p>この中では、特別支援学校の機能について、センター的役割を果たすという踏み込んだ記載をしているので、特別支援学校の事前の了解が必要ではないでしょうか。</p>
小野田教育長	<p>県立特別支援学校そのものがセンター的機能を持ちますということ、逆に市町村に流しています。</p> <p>地域を回るコーディネーターを活用してくださいということで、騎西とか久喜とかと連絡協議会ができていて、担当が出ていますので、その辺のことを踏まえて学校教育課長お願いします。</p>

清水学校教育課長兼指導主事	直接見せてはませんが、担当がこういうふうに進めておりますという話は、しているところでございます。
小野田教育長	<p>このタイトルをわかりやすく書くなら、加須市立学校における特別支援教育です。本当に特別支援教育を推進していくならば、学校教育課だけで完結するものはないというご意見はいただいています、その通りだと思います。</p> <p>市全体で取り組んでいくのであれば、人権や福祉などの連携は必要になりますが、これは学校教育課が主にやるべきことの指針を示すという意味合いで、学校教育課が中心になっている限定バージョンの計画です。</p> <p>いわゆる部門計画ということです。</p>
遠藤教育長職務代理者	知的はこうですよ、病弱はこうですよと、とても親切に丁寧に書いてあったので、よくまとめていただいてありがたいなと思います。私も素人なので、わからなかったのですが、こういうふうにまとめていただき、とっても見やすかったです。ありがとうございます。
小野田教育長	他にございますか。
小野田教育長	それでは、ご質疑、ご意見等ないようですので、採択に移ります。
	<p>お諮りします。</p> <p>第38号議案「加須市特別支援教育推進計画について」は、原案のとおり可決ということよろしいですか。</p> <p>(異議なしとの声あり)</p> <p>それでは、原案のとおり可決とします。</p> <p>(全員賛成により原案可決)</p>
	【日程第6 その他】
小野田教育長	日程第6 「その他」でございます。諸般の報告をさせます。斉藤生涯学習部長より順次報告をいたします。
斉藤生涯学習部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員施設訪問について ・ 第1回総合教育会議について
遠井学校教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市立幼稚園、小・中学校の運動会・体育祭について ・ 部活動の地域移行について
野本こども局長兼学校教育課理事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスについて ・ 令和5年度加須市立幼稚園入園募集の受付状況について
小野田教育長	その他に、事務局から説明を必要とする資料はありますか。

清水学校教育課長兼指導主事	・当面の臨時休業等の目安の改正について
鳥海生涯学習課長兼北川辺郷土資料館長	・令和5年加須市二十歳の集いの主賓・来賓について
小野田教育長	それでは、委員さんの方で、説明がほしい資料はございますか。
秋山委員	<p>12ページの不登校児童生徒に関する情報提供についてで、小学校の保護者・児童への支援状況の本人で、カウンセラーが0人、スクールソーシャルワーカーが2人に支援しているとなっています。</p> <p>カウンセラーとスクールソーシャルワーカーの違いを教えてくださいませんか。</p>
清水学校教育課長兼指導主事	<p>スクールカウンセラーは、基本的に保護者、児童生徒と直接相談に乗るという形になっております。</p> <p>スクールソーシャルワーカーは、家庭の部分も含めまして、訪問等を行っているところでございます。</p>
小野田教育長	<p>カウンセラーは心理カウンセラーなので、子どもの内面の話を聞いてということで、教育センターに1名、小学校は複数校で1名、中学校は規模の大きい学校は1名、小さい学校については複数校で1名ということでやっています。</p> <p>スクールソーシャルワーカーというのは、どちらかという福祉につながる橋渡し役、コーディネーターです。</p> <p>子どもの支援だけではとても無理で、家庭を支えていかないと、生活基盤を支えないと無理な場合、学校の範疇を超えますので、市役所の関係課、或いは家庭児童相談所等に、つなげる役割をしています。</p>
野本学校教育課主幹兼指導主事	<p>スクールソーシャルワーカーは、学校を訪問してその支援が必要な実態を把握するとともに、どのような支援が必要かということのを学校と共に検討します。その後依頼先を検討し、民生委員や市の福祉部門と連携をとり、支援方策を考え、経済的な支援が必要な場合は市の福祉部門などへの橋渡しをしています。また、市の子育て支援課のすくすく子育て相談室との連携をとっておりまして、積極的な支援を行っていただいております。</p> <p>教育センターには電話来所相談等の相談員が3名、学習室ピアの指導員が5名おります。所長、副所長、次長、相談員、指導員、そしてスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーという体制で、教育センターが成り立っています。</p> <p>その一角に適応指導教室学習室ピアがあり、現在15名が通級しています。</p> <p>適応指導教室学習室ピアでは、不登校傾向にあるお子さんについて、希望があった場合、学校を通して一度面談等を検討していただいて、利用につなげていきます。体験学習をしていただいて、自分に合っていると思ったお子さんが長期的な利用につながり、そのあと継続的に支援をしているという状況ですが、ずっとピアにいるというわけではなく、ピアの支援によって学校への復帰につながっているケースも多数ございます。</p>
猪股委員	10ページと11ページの、学力向上に向けた取り組みで、学力が高い児童生

徒の傾向というところで（３）番のクロス集計のコメント欄を見ると、先生の生徒に向き合う姿勢が、学力に大きく影響しているというのがよくわかります。

これは家庭教育でも全く同じことが言えて、保護者が頑張っているところを認めたりすれば、子どもたちのやる気を出すことにつながるとつくづく思いました。

それで今回のテストの結果は、去年、一斉休校もあり、GIGAスクールの環境整備にもろもろの労力がとられてしまって、ICTの学力へのポジティブな影響までたどり着けず、とりあえず環境整備でいっぱいになり、学力を養うような学習に集中できなかったのかなという気がします。去年のGIGAスクール導入の取り組みが、子どもたちの学習にどんな影響を与えているのか、今回の結果でわからないかもしれませんが、影響はなかったのでしょうか。

それから、11ページで、各学校がそれぞれの課題に基づいて、素晴らしい目標或いは取り組みを掲げていますが、来年の1月には加須市のチャレンジテストのCBT化に向けた取り組みがあるかと思いますが、CBT化もまた特殊な訓練が必要で、CBT化の準備、チャレンジテストの準備については具体的に、先生方はどんなことをされているのか教えていただけますでしょうか。

清水学校教育課長兼
指導主事

前回の定例会で、県学力学習状況調査の数値的なものを示して、その取り組みについて次回お話しするというものをまとめたものでございます。

端末を入れたことによってこれが学力の調査にどう影響したかというところを具体的に検証しているわけではありません。

今回、算数・数学が伸びていないという現状がございます。

あえて11ページで、中学校区を中心に、例えば昭和中では昭和中と書いてありますけども、ここは加須小・三俣小で同じような取り組みをやっていくという形になっています。タブレットを入れたから算数の計算ができなくなったと私たちは思ってはいません。端末を使っての利点は、一斉に書き込むことによって、大型ディスプレイ等にすべての児童生徒の考えが表示できること、集約が簡単にできるという部分です。その部分と、基礎の部分は大きく違いますので、基礎基本の徹底には、端末とは別に時間を作らなくてははいけないと思います。

あわせて家庭学習等でやっていけるのかなと思っております。

2点目のCBT化につきましては、CBT化といっても、例えば答えを選ぶ形と入力する形と、結びつける形、いろんな形のCBT化がありまして、国の方からもこういう形がありますよと、先日示されました。

私たちのテストとしては、算数などの入力を考えておりまして、これを何年生からどういうふうにするかというところを今、担当が考えております。

小野田教育長

加須市は、一斉にオンライン授業に切り換えたので、タブレットをとにかく使うというのが第1で、これの有効活用はどうかというのは、今後成果が問われるのかなと思っています。

学力向上に期する使い方というのはこれからの課題と思っています。

CBT化も、一度試運転はしましたが、サーバーが少し苦しかったり、いろいろなところがあり、今後やるなら先に先にやったほうが課題が見つかりやすいので、よろしく願います。

遠藤教育長職務代理
者

図書館要覧の35ページで、障がい者サービスのところに、対面朗読サービスや録音したテープを作成して希望者に郵送するサービスがあります。私も以前に対面朗読をやったことがあるのですが、この備考のところにも書いてある通り、

とても利用が少ないです。この希望者というのが、必要としている人の把握がちゃんとできているのでしょうか。やって頂きたいと言った人のみのサービスになってしまっていないか教えていただきたいと思います。

また、二つ下の図書館見学で、備考のところに書いてある学校、幼稚園以外に、他の学校の見学の予定とかがあるのかどうか教えていただきたいと思います。

大原図書館課長兼加須図書館長

障がい者サービスの備考の欄のこれまでの実績の件で、図書館で必要とされている方を把握しているかと聞かれると、実際、全ては把握できていないというところが現状でございます。今後につきましては、このサービスをもっと必要な方に届けられるよう、必要な方への周知について工夫して参りたいと考えております。

図書館見学についてでございますが、図書館見学は、学校からの依頼に基づき受け入れています。コロナ禍においては、密を避けるため、一般のお客さんが来館されない月末の館内整理日に図書館見学を受け入れています。

日程調整が難しく、どうしても平日のこの日に行きたいという相談があったときには、全部お断りするのではなく、工夫をしまして、例えば人数が多いときには二つの班に分けるとか、図書館が9時半から開館しておりますが、朝の9時くらいに来ていただいて、9時45分くらいまででしたら、お客さんも多くはないので、そういった時間帯で日程調整ができれば受け入れています。それから、図書館から遠くて、児童が歩いてくるのが大変だとか、なかなか行けないという相談もあり、昨年度につきましては、花崎北小学校で、図書館の職員が学校へ出向いて、図書館の写真等をスライドにして説明したり、図書館の使い方のお話をさせていただいたりということで、出張図書館見学も実施しております。

今年度につきましては、ここに書かれていない学校からも図書館見学の相談を受けておりますので、昨年度よりも多くなるかと思っております。

学校支援については、学校を訪問して説明させていただいておりますので、学校からの依頼がございましたら、可能な限り受け入れ、今後も多くの学校を支援していきたいと考えております。

猪股委員

14ページの不登校児童生徒に関する情報提供の表で、このような形でデータを取りまとめいただきありがとうございます。本当に子どもたちの現状がすごくよくわかって、数年教育委員やっていますけど、初めてこういうデータを見るので、本当に感動しました。

感動とともにショックを受けています。小学校は様々な問題でスクールカウンセラーが関わっていて、中学校は不登校や発達障害、心身の健康・保健に集中しているので、スクールカウンセラーが介入する事例というのがよくわかりました。

そこで、その他で、貧困や性的被害をあえて項目を出しているにも関わらず、小中ともにゼロですが、件数としては23件あります。実際どんなことが問題になっているのでしょうか。

それから、10ページの学力向上に向けた取組で、これは埼玉県の学力調査の結果を受けて学力向上に向けた検討委員会に基づくものということですが、同じ調査で体力とか生活習慣についても様々なデータが出て、課題も明らかになったと思います。教育委員会としては、この学力のほかにも、体力向上や生活習慣の改善に向けた、学力以外の検討委員会は設置していないのでしょうか。

清水学校教育課長兼指導主事

教育課程検討委員会以外に体力という部分では、体力向上推進委員会というのがございます。例年なわとび活動を中心にしておりましたが、このところ体力が

	<p>落ちているという現状がございますので、今年度に関しては、どのように上げていくかという部分を担当が考え、委員を集めて検討していきたいと考えております。</p>
野本学校教育課主幹 兼指導主事	<p>その他の内容ですが、生徒本人ですと兄弟関係や学校外での塾とかの相談とかもその他に含まれております。</p> <p>教員については、子どもとの関わりなどの内容も含まれております。</p>
猪股委員	<p>スクールカウンセラーが学校に入っている場合に、保護者とか子どもたちの相談に乗るということですが、加須市のスクールカウンセラーは、教員のメンタルヘルスとかの相談を受けたりしているのでしょうか。</p>
野本学校教育課主幹 兼指導主事	<p>教員のそういった相談も受けています。</p>
小野田教育長	<p>教員が学級経営や子どもとの関わりについて相談することの方が圧倒的に多いのですが、教員自身のメンタルコントロールとかで相談するケースもあります。</p> <p>場合によっては、市役所の産業医を紹介したりしますが、本人自身のメンタルヘルスも当然相談してよいということになります。</p>
秋山委員	<p>12ページの不登校児童生徒に関する情報提供のカウンセラーのところ、中学校は本人2名、保護者3名がカウンセラーの先生が対応されていますが、小学生の場合は、保護者3名で本人はゼロとなっています。小学校児童には、カウンセラーの先生ではなく別の方策なのでしょうか。</p>
小野田教育長	<p>大前提として、小学校の右下の17名の不登校の子たちが、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを使った件数で、スクールカウンセラーの関わったすべての総数ではありません。</p> <p>スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが関わったうちの不登校と分類された方たちがどれぐらいかということです。</p> <p>スクールカウンセラーが受けている実相談件数はもっと多いのですが、実際不登校になってしまっている子どもたちに対して、カウンセラーが本人に支援した人数が小学校ではゼロというのはどういう理由からですか。</p>
野本学校教育課主幹 兼指導主事	<p>この17名の、小学校の不登校のお子さんのうち、何人がカウンセラーと関わっていたかということでは下の一番下の表になっているわけですが、小学校の場合、児童とつながるきっかけが難しい場合もございます。</p> <p>まずは、保護者を入口にしてお子さんを連れていくというケースが多いように感じておりますが、お子さんがカウンセラーと話せないということもあり、つながらないケースもございます。</p> <p>また、14ページの表ですと、小学校の不登校22件のうちの6人の児童と関わっているとありますが、不登校傾向のお子さんが含まれているということで6という数字になっています。</p> <p>学校では、積極的にカウンセラーとつなげていきたいところですが、保護者とつながっても子どもにつながらないというケースがございます。</p>

小野田教育長

原則として、来室対応で、カウンセラーが家庭訪問をしたりはしないので、保護者に連れてきてもらうとかで、学校に来ないとスクールカウンセラーのケアは受けられません。

中学生になると、自分の意思で相談日に登校して相談します。このほか、市民プラザに学校ではない相談室をおいているので、そちらにも保護者及び児童生徒の相談はあります。

小野田教育長

以上で、令和4年第10回定例会の議事日程は、終了といたします。

なお、次回、令和4年第11回定例会は11月14日（月）午後1時30分に開会します。

これをもちまして、令和4年第10回加須市教育委員会定例会を閉会といたします。

上記、会議の顛末を記載し相違ないことを証明するため、ここに署名する。

令和4年11月14日

教育長 小野田 誠

委員 遠藤 康江

書記 岡田 正道